

ボランティアニュース 3



発行：御宿町ボランティア連絡会 TEL 68-6725

御宿町におけるボランティア活動について

御宿町は65才以上の方の割合が千葉県内で一番多い町です。住民のみなさんが生き生きと暮らせる町づくりのため、住民の皆様の柔軟なアイデアや自発的な活動がより発揮できるボランティア活動が重要と考え、連絡会の設立、ボランティア保険の加入促進などに取り組んでまいりました。現在は、ボランティア活動により多くの方が町に出て交流することで、生きがいを持って暮らせる方が増え、高齢者の皆さんが健康で長生きできる健康寿命が長い町づくりにつながっていると考えています。

ボランティアとは自分で考え継続的に無償で活動する方々です。ボランティア活動を長く続けるためには相手のことを考え、問題があればアイデアを出すことが重要です。このことは町づくりでも重要であり、

町の施策にもボランティアの皆さんのアイデアや活動が不可欠であるとも言えます。

今後は、福祉分野に限らず住民の皆さんが生活する様々な分野でボランティア活動が充実するために、町の※地域ボランティア活動支援事業を有効に利用していただきながら、活動の拠点となる社会福祉協議会内のボランティアセンター強化や町とボランティアの皆さんの連携強化などに取り組んで参りたいと思います。

※町が指定する地域活動を実施する団体等に対し、活動時間に応じた「らくだカードポイント」を付与するもの。

御宿町長 石田義廣



ボランティア連絡会の活動について（報告と計画）

平成27年度事業報告

平成27年度は、会員の情報交換や研修などに取り組みました。

平成27年

5月8日 町との話し合い
5月22日 役員会議 5月26日 総会
6月23日 役員会議 7月10日 全体会議
10月20日 役員会議
10月30日 ボランティア研修会

平成28年

2月9日 役員会議 3月11日 役員会議
3月24日 県地域別ボランティア研修

平成28年度事業計画

平成28年度は「ボランティア活動の普及と活動しやすい環境作り」のため、下記の事業を実施予定です。

平成28年

4月13日 役員会議
5月17日 役員会議
5月24日 総会
9月21日 ボランティア研修会
11月 会報の発行

平成29年

2月 ボランティア入門講座（協力）
3月 連絡会議

平成28年度のボランティア連絡会会員

読み聞かせグループ・おんじゅく
朗読ボランティアの会 すくすく母子の会
御宿町民生委員児童委員協議会 御宿台サークルcoco
御宿町食生活改善会 配食ボランティアの会
御宿町赤十字奉仕団 ほっとサロンボランティア
カトレア会 御宿バンド 絹子社中 しののめ会
春潮会 清水川を再生させる会 月見草を咲かせる会
すみれ会 グリーンクラブ 御宿町老人クラブ連合会
個人ボランティア3名

ボランティアセンターについて

ボランティア活動のコーディネート（相談・情報収集・調整・紹介等）や人材育成（講座・研修会の企画）など様々なボランティア活動を支援しています。

ボランティア活動に関する事なら何でもお気軽に問い合わせ下さい。

ボランティアセンターで行っていること

ボランティア登録 ボランティア講座の開催
ボランティア活動に関するお問い合わせ
ボランティア活動の紹介・要請

御宿町ボランティアセンター TEL 68-6725

ボランティア研修会の結果報告

平成28年9月21日に役場大会議室でボランティア研修会が開催されました。

参加者27人は4グループに分かれて、日頃感じている「御宿町で生活する上での困っていること」をテーマに話し合いました。

話し合いの中でわかった生活課題は次のとおりです。



地域福祉活動の中での課題

地域住民連携の課題

- ・個人情報に関係で福祉活動がしにくい。(交流が少ない人の把握が難しい)
日ごろから隣近所のつながりがあればもっと早く気づける。
- ・町内会の名簿が作れない。(本人達が了承すれば良いのではないか)
- ・町内に掲示板がなくて訃報がわからない。
- ・マンションの住人と連絡が取りにくい。関わりを持つのに時間がかかる。
- ・若い人とのコミュニケーションがとりにくい。
- ・各団体のつながりがもう少し解決しやすくなるのではないか。
- ・防犯、防災、地域社会でのコミュニケーションが難しい。

福祉情報に関する課題

- ・家族関係の変化から、子育てや介護が変わってきている。
家族が介護の制度(介護保険)などを学べる機会があると良い。
- ・視覚障害者の困りごとを相談するところがわからない。(ヘルパーができないことをどこに頼むか)
ガイドヘルパーの問題、手紙を読むボランティア、制度範囲外の掃除など。
- ・個人でボランティア活動をするにはどうしたらよいか。
- ・社協の活動がわからない。
※ほかのグループでも、各戸配布の社協広報や、ボランティアニュースなど見た記憶が薄いことがわかった。

福祉活動・制度に関する課題

- ・高齢者世帯の会話が少なくなっているため、積極的に外に出る取り組みが必要ではないか。
ほっとサロンなどの事業はあるのだが、これらに行けない高齢者が参加しやすくなるような働きかけがあると良い。
- ・無償の活動が生かせる場ができると良い。

くらしに関する課題

交通・バリアフリーの課題

- ・駅の階段は高齢者や子育て世代にとっては障害となっている。
「ベビーカーおろすんジャー」のような活動が御宿でもあるといい。エビアミーゴのきぐるみでどうか?
- ※「ベビーカーおろすんジャー」とは覆面で駅の階段でベビーカーの上げ下げを手伝うボランティア



- ・エビアミー号の利用について制約があって使いにくい。
行きは予約して使えるのだが、帰りの時間が不確定な場合予約できない(間に合わない)のでタクシーを使ってしまう。
- ・バスの停留所まで行けない。(エビアミー号)
※エビアミー号の仕組みが知られていなかったため説明した。
- ・バスのドアを自動にしてほしい。
- ・歩道に草が生えていて歩きにくい。歩道の石が抜けていてつまづくことがある。

生活に関する課題

- ・畑にハクビシン、イノシシ、アライグマなどが出て困る。
- ・医療機関が少なく不安を感じる。
- ・役場の職員の対応が悪いときがある。

町づくり・観光に関する課題

- ・御宿町をもっと知ってもらいたい。(観光ボランティアガイド)
行政や観光協会などで養成するようになればすぐに協力できるように勉強しているグループがある。
※駅の階段昇降の手助けは観光ボランティアガイドも協力できる。
- ・御宿を花の町にしたいが、駅前(観光協会脇)に花(花壇)がない。

なお、これらの生活課題は御宿町社会福祉協議会が地域福祉活動計画(暫定版)作成の資料として使用する予定です。